

学校教育目標 「学ぶ子ども 仲よくする子ども 健康な子ども はたらく子ども」

SHINBORI
ELEMENTARY
SCHOOL



新堀小だより

冬休み号

令和5年12月22日発行

校長 若林 寿

スマイル&
チャレンジ

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



未来を生きる子どもたちに期待
～持続可能な社会の担い手～



本格的な冬となりました。いよいよ子ども達にとって待ちに待った楽しい冬休みに入ります。本日、子ども達が持ち帰ります通知表については、ご家族と一緒に振り返っていただき、3学期に向けての意欲が高まりますよう、お声かけをお願いいたします

さて、今月の5日にPISA2022の調査結果が発表され話題となっています。PISA (Programme for International Student Assessment) は、OECDが中心となり実施している国際的な学習到達度調査で、81カ国・地域の69万人の生徒が参加しています。義務教育修了段階(15歳)を対象に、これまでに身に付けてきた知識や技能を、実生活のさまざまな場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測る目的で、「読解力」「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」の3分野について、2000年から3年ごとに調査を実施しているものです。日本の順位は「読解力」が前回18年の15位から3位に、「科学的リテラシー」も5位から2位に、「数学的リテラシー」も前回6位から5位に上がったという結果となっています。平均点も上昇しており、近年、「読解力」などの低下傾向が顕著だっただけに、とても朗報でした。文科省は、思考力や表現力を重視した授業改善を実施したことや、学校のICT環境が整備された点も一因だと分析しています。

国や県の学力調査もPISAと連動する取り組みです。学校だより11月号では、学力調査(国・県)の結果を受けた本校の取組として、授業等の教育課程の改善とともに、学校全体で「Qubena」を活用して、学力の確実な定着を目指していく。」こと、「読書の推奨、キャリア教育の充実に努めていく。」ことをお伝えしています。ご家庭のご理解・ご協力のもと、連携して取り組

んで行く必要があります。よろしくお願いいたします。

今後も探求学習や体験活動などを通じ、子ども同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、子どもたちがあらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成することを目指してまいります。まだ、私たちが見たことのない未来を生きる子どもたちに期待します。

【保教会からの贈り物】

ここは、新堀小学校の自慢の場所(新堀小 Strong Point) 学校図書館です。開校50周年を記念して、保教会から寄贈いただいたクッションで、さらに人気の場所となっています。学年を越えて仲よく読書している姿がとても微笑ましいです。保教会の皆様、有効に活用させていただきます。



2学期は、合言葉「スマイル&チャレンジ」のもと、計画してたくさんの特徴ある取組(新堀小 Strong Point)を実現することができました。保護者、そして地域・社会の皆様、本当にありがとうございました。それでは、皆様よいお年をお迎えください。